

芳賀青年の家 日誌

令和3年 元旦		<p>「芳賀青年の家」 新年明けましておめでとうございます。 今年もよろしくお願ひします。</p>
1月5日		<p>芳賀青年の家の玄関には、職員が手作りした門松が飾ってあります。こちらの門松をよく見ると、手びねり陶芸で作った今年の干支、牛の飾りが付いています。(左隣下写真)</p>
1月5日		<p>陶芸絵の具で着色し、並白釉をかけて焼き上げるときれいな色が出せました。(こちら職員の手作りです。)</p>
1月6日		<p>益子町からいただいたピオラを玄関前に飾ってあります。寒さに負けずに咲いている小さな花に力強さを感じます。</p>
1月7日		<p>昨年末に陶芸家の工房に伺い、1月9日から始まる主催事業「ろくろで作る益子焼」の事前研修を行った様子です。粘土の練りやろくろ成形のポイントを教えていただきました。 感染症対策を万全にし、参加者の皆さんに安心して活動していただけるよう準備を進めています。</p>
1月7日		<p>芳賀青年の家からの夕焼けです。 冬の澄んだ空気で、とても綺麗な景色が見えました。 明日も頑張ろうという気持ちになります。</p>
1月10日		<p>芳賀青年の家、正面玄関前にあるコブシの木に、つぼみがついているのを見つけました。これから、更に気温が下がる時期に備えて綿毛で覆われています。</p>